

ふるさと 再発見

秦佐八郎博士顕彰委員会

世界初の化学療法剤「サルバルサン 606 号」開発者

はた さ はちろう

秦 佐八郎 博士 ～生誕 150 年に寄せて～ VOL.1

益田市が誇る偉人、秦佐八郎博士の生誕 150 年に寄せて、その偉大な功績を隔月（全 5 回）で紹介いたします。第 1 回は、佐八郎の生い立ちを紹介します。

さまざまな医学史教科書で紹介されている日本人医学者、秦佐八郎（1873-1938）。彼が開発したサルバルサン 606 号は、のちの抗生物質や抗ウイルス薬に連なる化学療法剤の第 1 号であることが高く評価されています。

佐八郎は 1873 年（明治 6 年）美濃郡都茂村の山根道恭・ヒデの八男として生まれました。その後、医学校で学ぶことを約束に、都茂村の医師の秦徳太・ツタの養子となり、彼の医学への道が始まりました。勉強家であった佐八郎は、医学部生時代には教授も把握していない最新ドイツ語論文の知見を答案に書き「恐るべき生徒」と評されたことも。その勤勉さは後の化学療法剤の開発という偉業につながるものとなります。



エールリヒと秦 佐八郎

★次回（9月号）は、新しい千円札の肖像画に描かれる北里柴三郎や現在の千円札の肖像画に描かれている野口英世といった医学界の偉人とのつながりを紹介します。

【問い合わせ先】市協働のひとづくり推進課 ☎ 31-0621

「秦記念館」へ行ってみよう！

「秦記念館」では、秦佐八郎博士の偉業を偲び、博士が愛用した顕微鏡やサルバルサン 606 号のアンプルなど約 200 点の遺品等を展示しています。博士の人柄や功績などを知ることができる展示となっていますので、ぜひお越しください。

秦記念館（美都町都茂 807 番地） ☎ 52-2415

開館時間 10：00～16：00

休館日 毎週火・水曜日、祝日の翌日、年末年始

入館料 小学生 50 円、中高生 100 円、一般 200 円 ※ 15 名以上団体割引あり

詳しくはこちら！▶

